

船舶事故調査報告書

平成25年8月8日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	作業員行方不明
発生日時	不明（平成24年3月24日 05時25分ごろ～06時10分ごろの間）
発生場所	不明（広島県江田島市中田港～広島県廿日市市宮島町杉ノ浦東方沖の間）
事故調査の経過	平成24年3月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての作業員からの意見聴取は、本人が行方不明のため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第十八福栄丸、14トン HS2-1838（漁船登録番号）、個人所有 14.95m (Lr) × 4.58m × 1.60m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数140、平成元年5月6日
乗組員等に関する情報	船長 男性 45歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和61年9月25日 免許証交付日 平成23年5月16日 （平成28年9月24日まで有効） 作業員（中華人民共和国籍） 男性 21歳
死傷者等	行方不明 1人（作業員）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、作業員1人を乗せ、平成24年3月24日05時25分ごろ、かきの引揚げ及び積込みのため、中田港を出港した。 船長は、作業員が操舵室後方の船尾甲板において座っているのを認めたのち、操舵室で操船に当たった。 本船は、06時10分ごろ、杉ノ浦東方沖を北西進中、船長が、目的地が近くなったので、操舵室後方に設置されている発電機を始動するために操舵室を出たとき、作業員がいないことに気付いた。 船長は、06時20分ごろ事態を118番通報して捜索を要請し、海上保安庁等による捜索が行われたが、作業員は、発見されず、行方不明になった。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南西、風力 5 海象：波高 約1m、水温 約7～10℃</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船は、年間を通して同じ海域を航行していた。 本船は、甲板上からのブルワークの高さが約27cmであった。 作業員は、船員としての雇い入れはされていなかった。 作業員は、航行中に行う作業はなかった。</p>
<p>分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明 作業員は、行方不明となった。 本船は、05時25分ごろ、中田港を出港し、船尾甲板にいる作業員が目撃されたのち、06時10分ごろ、杉ノ浦東方沖を北西進中、船長が作業員のいないことに気付いたことから、この間において、作業員が落水して行方不明となった可能性があると考えられるが、落水した状況及び行方不明となった状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が中田港を出港したのち、作業員が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>